OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	意匠学会会報 No.63
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2008, 52, p. 152-159
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53558
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

意匠学会
会報
2008.5.31
No.63
http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsd2/

事務局移転

意匠学会本部事務局と編集事務局が下記に移転しました。両事務局が扱う業務以外は，これまで通り，大学生協学会支援センター意匠学会係が扱います。

本部事務局（入会・研究発表申込）：
〒566-8501　大阪府摂津市正雀1-4-1
大阪人間科学大学内
意匠学会本部事務局
FAX：06-6381-3502（FAX のみ）
E-MAIL：ohs-ishou-g@kun.ohs.ac.jp

編集事務局（『デザイン理論』投稿・書評希望図書送付）：
〒657-8501　兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11
神戸大学大学院人間発達環境学研究科内
意匠学会編集事務局（梅宮研究室）
TEL/FAX：078-803-7806
E-MAIL：design.riron@gmail.com

新体制発足

本年２～３月に行われた役員選挙の結果を受けて，４月５日に開催された平成20年度第１回役員会において，下記のとおり，委員・幹事・会計委員の選任，ならびに藤田治彦会長と藪亨副会長の選出が承認されました。選挙結果の詳細は，『デザイン理論』本号の選挙管理委員長による報告をご参照下さい。専門委員については次号で報告します。

2008～2010年度
意匠学会委員・幹事・会計監査一覧

１．委員（21名）
藤田治彦（大阪大学）会長
藪　　亨（大阪芸術大学）副会長
渡辺　眞（京都市立芸術大学）学会賞選考委員会委員長
羽生　清（京都造形芸術大学）広報委員会委員長
太田喬夫　芸術学関連学会連合担当
梅宮弘光（神戸大学）編集委員会委員長
並木誠士（京都工芸繊維大学）
佐藤敬二（京都精華大学）
鈴木佳子（京都女子大学）
横川公子（武庫川女子大学）

〈以下は委嘱委員〉
佐藤博一（京都造形芸術大学）広報委員会 仮称活性化ワーキング・グループ
今井美樹（大阪工業大学）仮称活性化ワーキング・グループ
谷本尚子（大阪人間科学大学）事務局担当
伊東徹夫（京都市立芸術大学）会報担当
三木順子（京都工芸繊維大学）『デザイン理論』春号編集担当
小宮容一（芦屋大学）
塚田耕一（杉野服飾大学）
山口良臣（名古屋市立大学）
島先京一（成安造形大学）
廣田　孝（京都女子大学）
面矢慎介（滋賀県立大学）

２．幹事（５名）
上羽陽子（大阪芸術大学）仮称活性化

ワーキング・グループ
高井節子（京都市立芸術大学）仮称活性化ワーキング・グループ
要真理子（大阪大学）事務局移転合理化プロジェクト担当
竹内幸絵（神戸大学）仮称活性化ワーキング・グループ
猪谷　聡（大阪大学）事務局移転合理化プロジェクト担当

3．監査（2名）：
足立裕司（神戸大学）
小山格平（京都市立芸術大学）

総会報告

第49回総会（平成19年11月10日，於神戸大学）において，平成18年度収支決算，平成19年度予算案（修正），および平成20年度予算案が提出され，了承されました。

平成18年度 収支決算

（平成19年11月10日承認）

収入の部		支出の部	
前年度よりの繰越金	5,366,252	『デザイン理論』編集費	70,000
会員会費	2,374,000	『デザイン理論』印刷費	1,185,030
正会員 8,000×290＝2,320,000 学生会員 4,000×6＝24,000 法人会員 15,000×2＝30,000		例会費	42,524
		学会賞等奨励金	100,000
		ホームページ作成・維持費	100,000
		大会補助費	105,454
		会報	29,400
		封筒等印刷費	18,375
		通信費	217,000
雑収入	6,000	事務費	356
利息	579	運営費	495,876
		芸研連会費	15,000
		旅費	81,000
		予備費	0
		次期繰越金	5,286,816
計	7,746,831	計	7,746,831

平成19年度 予算案（当初）

（平成19年11月10日承認）

収入の部		支出の部	
前年度よりの繰越金	3,675,252	『デザイン理論』編集費	70,000
		『デザイン理論』印刷費	1,850,000
会員会費	2,542,000	例会費	40,000
正会員 8,000×310＝2,480,000 学生会員 4,000×8＝32,000 法人会員 15,000×2＝30,000		学会等奨励金	200,000
		ホームページ作成・維持費	100,000
		大会補助費	150,000
		会報印刷費	50,000
		封筒印刷費	110,000
		その他印刷費	140,000
		通信費	400,000
雑収入	30,000	事務費	50,000
		運営費	500,000
		芸関連会費	10,000
		旅費	54,000
		予備費	100,000
		次期繰越金	2,423,252
計	6,247,252	総計	6,247,252

平成19年度 予算案（修正）

（平成19年11月10日承認）

収入の部		支出の部	
前年度よりの繰越金	5,286,816	『デザイン理論』編集費	80,000
		『デザイン理論』印刷費	1,197,000
会員会費	2,702,000	例会費	40,000
正会員 8,000×334＝2,672,000		学会等奨励金	100,000
学生会員 4,000×0＝0		ホームページ作成・維持費	100,000
法人会員 15,000×2＝30,000		大会補助費	150,000
		会報印刷費	0
		封筒印刷費	26,000
		その他印刷費	14,000
		通信費（以下内訳）	444,000
		送料	320,000
		ハガキ代	100,000
		ハガキ印刷代	24,000
雑収入	3,000	事務費	5,000
		運営費	360,000
		芸関連会費	15,000
		旅費	0
		予備費	50,000
		次期繰越金	5,410,816
計	7,991,816	総計	7,991,816

平成20年度 予算案

（平成19年11月10日承認）

収入の部		支出の部	
前年度よりの繰越金	5,410,816	『デザイン理論』編集費	80,000
		『デザイン理論』印刷費	1,200,000
会員会費	2,702,000	例会費	40,000
正会員 8,000×334＝2,672,000		学会等奨励金	200,000
学生会員 4,000×0＝0		ホームページ作成・維持費	100,000
法人会員 15,000×2＝30,000		大会補助費	150,000
		会報印刷費	0
		封筒印刷費	20,000
		その他印刷費	10,000
		通信費（以下内訳）	400,000
		送料	280,000
		ハガキ代	100,000
		ハガキ印刷代	20,000
雑収入	30,000	事務費	5,000
		運営費	350,000
		芸関連会費	15,000
		旅費	0
		予備費	50,000
		次期繰越金	5,467,816
計	8,142,816	総計	8,142,816

大会報告

第49回大会は，平成19年11月10日（土）と11（日）の２日間，神戸大学において開催されました。詳細は，以下のとおりです。

大会主会場：神戸大学工学部
C3－302教室（３階）

パネル発表：工学部 C3－101
（創造工学スタジオ２）（１階）
固有性と普遍性をつなぐ空間構成の展開：住宅作品２題
末包　伸吾（神戸大学）
フォトコラージュによるインスタレーションの試み「世界の中の神戸　神戸の中の世界」
川島　洋一（福井工業大学）
ル・コルビュジエの二つのグリッド ── トラセ・レギュラトゥールとモデュロールの比較から
伊集院敬行（島根大学）
スモール GUI デザイン
櫛　　勝彦（京都工芸繊維大学）
環境共生と景観
徳岡　昌克（㈱徳岡昌克建築設計事務所）

１日目プログラム
11月10日（土）10：00 ～　受付開始
会場：C3－302（３階）

開　会　10：20 ～

パネル発表（10：30－12：00）
会場：C3－101
（創造工学スタジオ２）（１階）

総　会（13：10－13：50）

シンポジウム（14：00－16：45）
「テレビのある風景 ── 生活空間のなかの工業デザインとその記憶 ──」
パネリスト
生活空間と家電の相克とその歴史
足立　裕司（神戸大学）
家電の発達系譜 ── 扇風機・洗濯機・テレビを通して ──
石村　眞一（九州大学）
ハウジングメーカーの戦略
中村　孝之（積水ハウス・ハートフル研究所）
生活空間とプロダクト・デザイン
面矢　慎介（滋賀県立大学）
建築家からみた生活空間の創造
遠藤　秀平（神戸大学・建築家）
司　会　末包　伸吾（神戸大学）

懇親会　17：00－18：30
会場：滝川会館１階（農学部南）

２日目プログラム
11月11日（日）10：30 ～　受付開始
会場：C3－302（３階）

研究発表　11：00－12：30（発表各30分）
１．エジプト・シナイ半島，ラーヤ遺跡出土にみる初期イスラーム時代の染織裂について
井関　和代（大阪芸術大学）
２．「誰が袖図」屏風制作の一様相 ── 小袖モティーフにおける文様表現に関する考察を中に
奥田　昌子（京都市立芸術大学）
３．1950年代における「モード」への抵抗と降伏 ── 中原淳一，花森安治の場合を例に
安城　寿子（お茶の水女子大学）

昼食休憩　12：30－13：30

研究発表　13：30－15：00（発表各30分）
４．建築デザインのテクスチャを要素とする街路景観の調和性分析法
田村　　剛（立命館大学）
５．マッキントッシュの室内装飾
川口　佳子（京都工芸繊維大学）

6．アイリーン・グレイの屏風・インテリア・建築について
川上比奈子（夙川学院短期大学）

研究発表　15：10－16：40（発表各30分）
7．山越邦彦の「構築」概念について ── 1920～30年代日本における構成主義思想受容の一側面
梅宮　弘光（神戸大学）
8．近代フィンランド木造建築と木の美
小林　文菜（大阪大学）

閉会の辞　16：40

研究例会

第194回研究例会
平成20年２月16日（土）
於　大阪工業大学

研究発表
1．アート理解，それは経験が尺度となる
── ファーレ立川と東京ミッドタウンのパブリックアートを中心に ──
神蔵理恵子（京都工芸繊維大学大学院）
2．視覚伝達における漢字のデザイン性に関する研究
── 象形性の復活 ──
徐　　攀（テック・ワーク株式会社）

一般会務報告

平成19年度第３回役員会　議事録
日時：平成19年９月８日（土）
12時より
会場：京都精華大学

出席者：藤田治彦，藪亨，渡辺眞，榊原吉郎，足立裕司，佐藤敬二，伊東徹夫，梅宮弘光，鈴木佳子，並木誠士，羽生清，佐藤博一，要真理子，猪谷聡

議題１．平成19年度第２回役員会議事録が承認された。

議題２．２月例会の当番校候補として京都女子大学，大阪工業大学，大阪大学の名が挙がったが，確定については次回送りとなった。また，発表者について神蔵理恵子（京都工芸繊維大学）が承認されたが，他の１名の確定については次回送りとなった。

議題３．本年度大会・総会について足立委員から別紙のようなプログラム案が提示され，承認された。またその際，下記の大会研究発表者が確定された。
１．安城寿子（お茶の水女子大学大学院），２．奥田晶子（京都市立芸術大学），３．梅宮弘光（神戸大学），４．川口佳子（京都工芸繊維大学），５．田村剛（立命館大学），６．川上比奈子（夙川学院短期大学），７．小林文菜（大阪大学），８．井関和代（大阪芸術大学），９．〈関東方面の会員〉（塚田委員に推挙を依頼）

議題４．事務局から「新入会員」３件と「退会願い」１件について報告があり承認された。

議題５．「若手活動推進ワーキング」の会合について会長から報告があり，その会合で提起された学会ホームページへの会員名の掲載等について論議があった。

議題６．役員改選の選挙管理委員会のメンバーについて，小宮容一会員，今井美樹会員，中野仁人会員がその候補者として挙げられた。

議題７．編集委員会より「デザイン理論」の編集状況について報告があった。

議題８．広報委員会より，学会ウェブサイトの運営方式の変更が報告され，承認された。

議題９．学会賞選考委員会から学会賞，論文賞の選考結果について報告があり承認された

さらに，次年度に向けて，大会の折のパネル発表作品を対象として作品賞を設置し，本年度大会から実施することが提案され，論議があり，承認された。また，作品賞の発表は次年度「デザイン理論」春季号で，その顕彰は次年度大会で行うことが承認された。

議題10.「第６回デザイン史デザイン学国際会議」および「デザイン・ミュージアムを考える会」についてそれぞれ会長から報告があった。

議題11.「芸術学関連学会連合シンポジウム」テーマの募集について会長から報告があった。

平成19年度第４回役員会・議事録
日時：平成19年11月10日（土）
12時より
会場：神戸大学

出席者：藤田治彦，藪亨，太田喬夫，渡辺眞，榊原吉郎，足立裕司，梅宮弘光，鈴木佳子，横川公子，豊原正智，細野幸敏，山口良臣，要真理子，猪谷聡

議題１．第３回役員会議事録が承認された。

議題２．平成18年度予算（修正）と平成19年度予算案が，別紙資料を基に会計幹事（要）より説明がなされ承認された。

議題３．総会次第について，別紙資料を基に学会事務局から説明がなされ承認された。
総会の議長候補として大西範明会員を推挙することが承認された。
学会賞選定副委員長（足立）より学会賞についての報告があった。

議題４．２月研究例会について大阪工業大学（平成20年２月16日（土））で開催されることが確定された。また研究発表者については，１．神蔵理恵子（京都工芸繊維大学），２．徐攀（京都市立芸術大学）を確定した。

議題５．役員改選の選挙管理委員会の委員として，小宮容一会員，今井美樹会員，中野仁人会員が推挙され，承認された。

議題６．研究例会通知等の案内は，基本的にメールで案内することが事務局より提案され承認された。

議題７．学会創設50周年記念事業について，論議があり，平成21年に向けて準備することが話し合われた。

議題８．編集委員会（梅宮）より，デザイン理論51号編集についての報告があり，査読のルールの明確化についての必要性が提起された。

議題９．学会賞選考委員会（足立）より，新設の「作品賞」についての報告があった。

議題10.「若手活動推進ワーキング」（仮称）の正式名称と構成員の確定についての論議があったが継続審議となった。

議題11. 大会開催時期の変更について，事務局（藪）から提案があり，論議の結果，７月初めに開催することで承認された。

議題12. 平成20年度大会について，京都造形芸術大学での７月初めの開催が提案され，承認された。

議題13. 2008年の「第６回デザイン史デザイン学国際会議」について会長から報告があった。

平成19年度第５回役員会・議事録
日時：平成20年２月16日（土）
12時より
会場：大阪工業大学

出席者：藤田治彦，藪亨，渡辺眞，並木誠士，榊原吉郎，羽生清，佐藤博一，伊東徹夫，山口良臣，島先京一，廣田孝，小

宮容一，要真理子，猪谷聡（計14名）

議題１．第４回役員会会議録が承認された。

議題２．５月例会が京都女子大学で開かれることが確定され，開催日は５月17日（土）が候補にあがった。発表者については，その１名は京都女子大学関係者から選出されることが確認され，もう１名の選出は事務局に依託された。

議題３．平成20年度研究例会の当番校については，９月例会が大阪市立デザイン教育研究所あるいは大阪芸術大学，11月例会が成安造形大学，２月例会が京都工芸繊維大学となった。

議題４．平成20年度大会が京都造形芸術大学にて７月19日（土）・20日（日）に開催されることが別紙資料に基づき説明があり，了承された。
また，大会プログラムその他については，大会事務局（羽生清，佐藤博一，左海きほ）を中心に検討することになった。

議題５．研究例会通知等のメールでの案内について，事務局から報告と確認があった。

議題６．編集委員会より「デザイン理論」の編集状況について報告があった。

議題７．学会賞選考委員会から大会開催時期の変更に伴う選考手順の変化等について報告があった。

議題８．次期役員会への申し越し事項について次のような事柄が提起された。
１）学会創設50周年記念事業
２）「若手活動推進ワーキング」の組織化
３）学会支援センターへの日常的な実務依託に伴う学会運営組織の見直し

議題９．2008年「第６回デザイン史デザイン学国際会議」について藤田会長から報告があった。

議題10．事務局より入会４名，退会３名について報告があり，承認された。

2007年度　入退会者名簿

［入会者］
竹　内　有　子
金　　相　美
HAIJIMA Agnese
橋　本　啓　子
辻　　裕　剛
浦　崎　真　一
余　　安　里
石　川　義　宗
田　村　　剛
下　田　元　毅
川　上　比奈子
小　林　文　菜
井　面　　舞
板　垣　順　平
伊地知　栄　美
徐　　攀
藪　　晶　子
大久保　恭　子
鈴　木　周　子
吉　田　紀　子

［退会者］
木　村　和　美
AIHED Kadry Hussein
Jean Sebastien CLUZEL
川　口　美乃里
城　崎　有　沙
武　村　俊　一
井　上　直　久
高　山　由　佳
山　本　高　史
山　田　　綾
小　川　忠　彦
松　原　絢　子

原田佳子
峰晴亨
北正之
増成和敏
池永則子
井手口彰典
槌田徹
屋慶名恭子
村上暁子

会報担当連絡先
〒610-1197
京都市立芸術大学美術学部第３研究室
伊東徹夫　宛
TEL　075-334-2255　FAX　075-334-2255